

4 専修学校（専門課程）

(1) 表6に示すとおり、平成30年3月卒業者のうちの就職者総数は1,279人で、前年より121人減少している。そのうち県内に就職した者は852人で、前年より96人減少している。県内就職率は66.6%で、前年より1.1ポイント低下している。

県内就職率を専門分野別でみると、文化・教養科、服飾・家政科を除きいずれも60%以上の高い率になっている。

3ページ表3で示したとおり、県外就職者は427人で、前年より25人減少している。県外就職の状況を就職先地方別でみると、九州・沖縄214人(50.1%)、関東114人(26.7%)、近畿55人(12.9%)、中国21人(4.9%)、四国10人(2.3%)、中部8人(1.9%)、その他5人(1.2%)の順となっている。

進学者総数は50人で、前年より6人増加している。県内進学率は50.0%で、前年より13.6ポイント低下している。

表6 専門分野別進路状況(専修学校〔専門課程〕)

(単位:人、%)

区 分	総 数		工 業		農 業		医 療		衛 生	
	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月
卒業生総数	1,447	1,525	217	213	45	49	738	813	143	111
就職者総数	1,279	1,400	207	207	45	48	651	753	125	101
就職率	88.4	91.8	95.4	97.2	100.0	98.0	88.2	92.6	87.4	91.0
うち県内就職者	852	948	131	121	39	37	419	517	93	84
県内就職率	66.6	67.7	63.3	58.5	86.7	77.1	64.4	68.7	74.4	83.2
進学者総数	50	44	-	-	-	1	20	16	1	1
進学率	3.5	2.9	-	-	-	2.0	2.7	2.0	0.7	0.9
うち県内進学者	25	28	-	-	-	7	12	1	-	-
県内進学率	50.0	63.6	-	-	-	35.0	75.0	100	-	-
一時的な仕事に就いた者	20	17	3	2	-	4	5	8	1	1
一時的な仕事に就いた者の率	1.4	1.1	1.4	0.9	-	0.5	0.6	5.6	0.9	0.9
うち県内居住者	20	13	3	2	-	4	4	8	1	1
県内居住率	100.0	76.5	100.0	100.0	-	-	100.0	80.0	100.0	100
その他総数	98	65	7	4	-	-	63	40	9	8
その他の率	6.8	4.3	3.2	1.9	-	-	8.5	4.9	6.3	7.2
うち県内居住者	80	63	7	4	-	-	51	38	9	8
県内居住率	81.6	96.9	100.0	100.0	-	-	81.0	95.0	100.0	100.0

つづき

区 分	教育・社会福祉		商業実務		服飾・家政		文化・教養	
	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月
卒業生総数	66	76	80	90	8	14	150	159
就職者総数	56	66	73	86	-	5	122	134
就職率	84.8	86.8	91.3	95.6	-	35.7	81.3	84.3
① うち県内就職者	53	54	57	69	-	3	60	63
県内就職率	94.6	81.8	78.1	80.2	-	60.0	49.2	47.0
進学者総数	8	7	5	2	-	-	16	17
② 進学率	12.1	9.2	6.3	2.2	-	-	10.7	10.7
うち県内進学者	7	5	3	1	-	-	7	10
県内進学率	87.5	71.4	60.0	50.0	-	-	43.8	58.8
③ 一時的な仕事に就いた者	1	-	-	2	-	-	4	7
一時的な仕事に就いた者の率	1.5	-	-	2.2	-	-	2.7	4.4
うち県内居住者	1	-	-	2	-	-	4	4
県内居住率	100.0	-	-	100.0	-	-	100.0	57.1
④ その他総数	1	3	2	-	8	9	8	1
その他の率	1.5	3.9	2.5	-	100.0	64.3	5.3	0.6
うち県内居住者	1	3	1	-	8	9	3	1
県内居住率	100.0	100	50.0	-	100.0	100.0	37.5	100

(2) 図8に示すとおり、平成30年3月卒業者のうち就職者の産業別就職状況を見ると、医療、福祉が785人(61.4%、前年に比べ4.0ポイント低下)で最も多く、次いで情報通信業105人(8.2%、同0.8ポイント上昇)、生活関連サービス業、娯楽業88人(6.9%、同0.5ポイント上昇)の順となっている。

県内就職者を産業別で見ると、図9に示すとおり、医療、福祉が542人(63.6%、前年に比べ6.5ポイント低下)で最も多く、次いで生活関連サービス業、娯楽業66人(7.7%、同0.3ポイント低下)、卸売業、小売業39人(4.6%、前年同)の順となっている。

図8 産業別就職状況の推移(専修学校[専門課程])

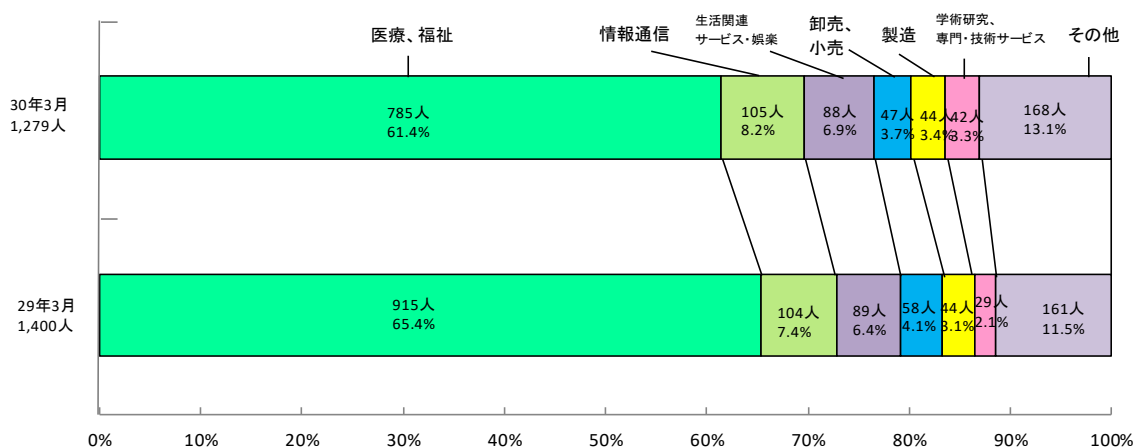


図9 産業別県内就職状況の推移(専修学校[専門課程])

